

新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒 475-0966 愛知県半田市岩滑西町 1-10-1 TEL0569(26)4888 http://www.nankichi.gr.jp

南吉の命日を「貝殻忌」と命名

かいがらき

三月二十二日(土)、南吉の七十一回目の命日を迎え、記念館では命日セレモニーを開催しました。その中で、南吉の命日を「貝殻忌」と命名することが発表されました。

文

学忌とは作家の文学的業績を偲び命日に付けられるもので、太宰治の桜桃忌や芥川龍之介の河童忌などがよく知られています。

実は、新美南吉にも以前は「山桃忌」という名前で文学忌が行われていたことがありました。南吉の養家を保存・公開しているかみ

三月二十二日(土)、南吉の七十一回目の命日を迎え、記念館では命日セレモニーを開催しました。その中で、南吉の命日を「貝殻忌」と命名することが発表されました。

や美術館(半田市有脇町)の初代館長で南吉研究家でもあった神谷幸之氏が行っていったもので、命日ではなく誕生日に開催されていた。名前は養家の後ろにそびえる山桃の太木からとっています。しかしそれも二十年程前から行われなくなりしました。昨年南吉生誕百年の年

にあたり、南吉のふるさと半田市では様々な記念イベントを行いました。多くの方が参加してください。また南吉や南吉作品への関心も高まりました。半田市では、こうした流れを継続させ、命日を南吉ファンが集い南吉文学に親しむことができる日にしたいと、新たに文学忌の名称を定めることになりました。幾つかの

候補を挙げ、南吉の遺族や教え子、研究者の方々の意見をお聞きして決まったのが「貝殻忌」です。これは南吉の詩「貝殻」にちなんだものです。「かなしきときは貝殻鳴らそ。／二つ合わせて息吹をこめて。／静かに鳴らそ、貝がらを。(後略)」

悲しさを癒すために貝殻笛を吹く姿は、子ども時代の南吉を思わせます。この詩が悲しみを背負いながら短い生涯を文学に生きた南吉らしい詩であること、また雁宿公園に市内で最初の南吉の文学碑が建立された際に刻まれた作品であり、曲が付けられ合唱曲として歌われるなど、市民にも親しまれていることから選ばれました。



胡弓の音が響く中で行われた献花

命日セレモニーでは、胡弓の演奏、南吉の写真の前で「貝殻忌」を発表する市市長

命日セレモニーでは、胡弓の演奏



▲ 南吉の写真の前に「貝殻忌」を発表する市市長



第二十六回新美南吉童話賞募集

「あなたのやさしさを言葉に紡いで」

今年も、六月一日(日)から、新美南吉童話賞の作品募集が始まります。

新 美南吉記念館では今年も創作童話の募集を行います。

昨年は、南吉の生誕百年に当たる年だったため、通常部門に加えて、南吉が遺した構想メモをもとに作品を創っていた「幻の童話」部門を特別に設けて作品を募集しました。結果、応募総数は両部門合わせて二八九〇点に上り、これまでに最多となりました。その後、三回の審査を経て十八点の入賞作品が選ばれました。

今回は、例年と同様に通常部門のみの募集となります。

締切は、九月十六日(火)。最終審査は、浜たかや氏(児童文学者)、酒井晶代氏(児童文学研究)



者)、富安陽子氏(童話作家)藤田のぼる氏(児童文学評論家)、の四名によって行われ、十一月の下旬頃入賞者が決まります。

入選作品は、作品集『赤いろうそく』にまとめ各地の図書館、児童書の出版社などに寄贈いたします。なお、過去の作品集(一部欠号あり)左写真は前回のもの)は、新美南吉記念館でお求めいただけます(一冊五〇〇円)。詳しくは記念館まで。

今年もたくさんのご応募をお待ちしています。

第26回 新美南吉童話賞募集 募集要項

【募集内容及び応募規定】

●日本語で書かれた「創作童話」。テーマは自由です。

自作未発表のもので、同時に他の創作童話賞へ応募をしていないこと。

●募集部門 ◎一般の部(高校生以上) 4000字詰原稿用紙7枚以内

◎中学生の部 5枚以内

◎小学生高学年の部(4年生以上) 5枚以内

◎小学生低学年の部 3枚以内

●原稿は必ず縦書き。濃い筆記用具を使用すること。

(パソコンの場合は1枚20字×20行で印刷。感熱紙の使用は不可)

●題名、郵便番号、住所、氏名(学生の場合は保護者名も)、年齢(学生の場合は学校名、学年も)、電話番号(携帯電話でも可)を記載したA4判の紙を1枚添えること(応募票は当館のホームページからダウンロードできます。)

●作品は左記応募先まで郵送または持参。

●応募作品の返却はいたしません。入選作品の著作権は新美南吉記念館に帰属するものとします。

【応募期間】平成26年6月1日(日)～9月16日(火)

※当日の消印有効。海外から発送したものは当日必着。

【応募先・問い合わせ先】

新美南吉記念館 新美南吉童話賞係

〒475-1096 愛知県半田市岩滑西町1-10-1

(電話:0569-126-4888) <http://www.nankichi.jp>

【発表】平成26年11月下旬予定(入選者のみ連絡します)

【表彰】最優秀賞:1編 賞金50万円

優秀賞:一般の部2編・賞金5万円、

その他の部門各1編 賞品3万円

●選考委員 浜たかや(児童文学者)、酒井晶代(児童文学研究者)、

富安陽子(童話作家)、藤田のぼる(児童文学評論家)ほか

主催 半田市教育委員会

共催 新美南吉顕彰会、公益社団法人半田青年会議所

新美南吉事業推進協議会「ごんぎつねの会」

後援 文化庁(予定)、愛知県教育委員会、中日新聞社

協賛(予定) ミツカングループ、知多信用金庫

記念館からのお知らせ《5月》

6月5日は開館20周年記念日！

新美南吉記念館は、平成6年6月5日に開館しました。今年、開館20周年を迎えます。(6月5日は入館無料です)

都道府県別

一番乗り競争！

開館20周年を記念して、6月5日以降に各都道府県から最初に「来館ください」の方を「一番乗り」として認定します。来館して、お住まいの都道府県から、まだどなたもお越しになっていなかったら、ぜひ窓口にお申し出ください。

開始日時 6月5日(木)、9時30分

※記念館窓口にお住まいの住所が分かるものをご提示いただきます。

※「一番乗り認定証」と記念品を差しあげます。

新美南吉のふるさと半田

PRポスタープレゼント

絵本『こんぎつね』手ぶくろを買いに『(と)もに偕成社』で知られる画家黒井健氏に、昨年、半田市が依頼して絵画2点を描いてい



◀「生家夕時」 ▲「権現山幻想」
記念館窓口で販売もしています。
B2 300円/B3 200円

ただきました。(南吉の生家や童話をモチーフにしています)今回それらを元にポスターを製作しました。開館20周年を記念して、6月5日に来館された先着200名にポスター(B3サイズ)をプレゼントします。絵柄は2種類。お好きな方を1枚差しあげます。

★5月4日、5日は「正八(南吉の本名)ちゃん」の端午の節句」を開催

飛び出せ紙芝居

NHK「中学生日記」の大菅根校長役で知られる伊沢勉さんが率いる人形劇団「劇団ベンベン」が、紙芝居をベースに、指人形や影絵、歌などを使って南吉童話の世界を表現します。
日時 5月4日(日) 13時30分～14時30分
会場 記念館会議室

演目 「手袋を買いに」「でんでんむしのかなしみ」

※申込みは不要です

紙でできた本物そっくりのよろいを着てみよう
紙で精巧につくられた甲冑の試着体験ができます。

日時 5月5日(祝)

午前 10時～12時
午後 13時～15時

場所 記念館芝生広場

※雨天は記念館会議室

対象 年少園児～大人

所要時間 10分程度

協力 「東浦町手づくり

よろいの会」

えみちゃんの朗読会

南吉さんへLOVEをこめて
安城市を拠点に南吉作品の朗読会を多く開催している女優石川恵深さんが、南吉の童話や詩を朗読します。
日時 5月5日(祝) 13時30分～14時
場所 記念館図書室

★その他の行事

童話創作講座

童話作家を目指す人や、童話の創作に興味を持つ方を対象に講座を行います。講師は井上寿彦氏です。第1回の講座を受けた後、作品を創って提出し(希望者のみ)、第2回の講座で講師から講評してもらいます。
【井上寿彦氏プロフィール】
童話作家。昭和十一年、名古屋生まれ。名古屋大学文学部国文学科卒。「田園詩人はどこへ行く」で北川千代賞を受賞。著書は他に『マーチング・マーチ』(日本児童文学文庫)など。現在、東海学園大学名誉教授。
日時 6月1日(日)、7月6日(日) 10時～12時

場所 記念館会議室

対象 中学生以上

定員 20名(申込み順)

受講料 1000円

申込み 5月3日(土)、

9時30分から電話でお申し込みください。

新美南吉生誕百年

メモリアル展

南吉生誕百年を記念の品とパネルで振り返ります。
日時 7月6日(日)まで

場所 記念館常設展示室

うたとお話の会

毎月第4日曜日の午後、図書室でうたとお話の会を行っています。

場所 記念館図書室

時間 13時30分～14時

出演 左近治樹さん

小野敬子さんほか

展示室ガイド

ガイドボランティアが常設展示室をご案内します。

実施日 毎週土、日曜日、

祝日、振替休日

ガイドが待機している時間

午前 10時30分～12時30分

午後 13時30分～15時30分

※申込みは不要。ガイドできない日もあります。



南吉の誕生日に名前をつけてください!

南吉の誕生日に名前を付け、みんなで祝い、南吉文学にふれる日としたいと考えています。そこで、みなさんから南吉の誕生日にふさわしい名前を募集します。奮ってご応募ください。

■募集期間 5月1日(木)～6月13日(金) 必着

■対象 どなたでも

- 応募方法
- ・葉書に「誕生日の名前」、氏名(中学生以下は保護者名も)、住所、電話番号、年齢を書き、新美南吉記念館にお送りください。
 - ・Eメールでも応募できます。
 - ・複数案の応募も可能ですが、葉書・Eメールともに1通につき1案で応募してください。

■応募先・問い合わせ先

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1

TEL 0569 (26) 4888

Eメール: nankichi@city.handa.lg.jp

■賞品

最優秀賞	図書カード	10,000円分	1名
優秀賞	図書カード	5,000円分	2名

■発表 7月中旬、当館ホームページと「はんだ市報」にて発表します。



以上の事業・行事へのお問い合わせ、お申込みは新美南吉記念館まで。
TEL 0569 (26) 4888

日誌抄

二月(如月)

▽2日 展示ガイドボランティア例会▽3、10日 中日新聞夕刊の連載「思うままに」(梅原猛)に南吉がとりあげられる▽27日 第116回新美南吉研究会。於記念館会議室。9名参加三月(弥生)

▽16日 「新美南吉装丁展」終了。於記念館常設展示室。会期中来館者数6,783名▽21日 新美南吉生誕百年メモリアル展始まる。於記念館常設展示室(7月6日まで)▽22日(南吉命日)南吉を偲ぶ会開催。▽同日 南吉文学忌「貝殻忌」発表▽同日 命日ウォーク。於記念館及び岩滑地区。13名参加▽同日 貝殻笛づくり。於記念館工作室。110名参加▽同日 「蓄音機コンサート」。於記念館図書室。38名参加▽23日 みんなで議論「南吉さん! それでいいの?」。於記念

館会議室。18名参加▽26日 テレビ東京系列「ワールドビジネスサテライト」の「スミスの本棚」で作家五木寛之氏が「手袋を買いに」を紹介▽28日 「新美南吉生誕百年報告会」開催。於アンプラザ半田

【入館料改定のお知らせ】

消費税率が8%に引き上げられたことに伴い、平成26年4月1日(火)より、団体料金(高校生以上20名/一人あたり)を改定させていただきますました。

【改定前】 ↓ 【改定後】
1600円 ↓ 1700円

なお個人のお客様につきましては、これまでと変わらず、お一人2100円です。
※中学生以下は、個人、団体ともに無料です。

〈5月の休館日〉

7日(水)、12日(月)
13日(火)、19日(月)
26日(月)

※5日(月)は祝日のため開館いたします。

〈6月の休館日〉

2日(月)、9日(月)
10日(火)、16日(月)
23日(月)、30日(月)